

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/10 (火)	1	市民の会 城中利文	1、新型コロナウイルス対策について	(1) 対策の現状と今後への備え (2) 関係機関等との連携 (3) 市民、各種団体、企業等への協力要請 (4) 対策の実施による影響と解決策
			2、これまでに提案された主要事業について	(1) 讃岐造船跡地開発とその周辺整備にどう取り組むのか。 (2) 本庁舎周辺整備にどう取り組むのか。 (3) 土壌汚染対策とそのことに関する事項はどう進んだのか。 (4) 用途廃止された施設をどうするのか。
			3、組織改編について	(1) 組織改編のねらいは何か (2) 職員の能力発揮の具体策は何か (3) 審議監の職務と新設する理由は何か
			4、防災について	(1) これまでの単なる防災とは異なる持続的かつ総合的な対応とは何か (2) 地域の特性に応じてコミュニティー維持に係る機能を複合化させる具体策は何か (3) 刷新した総合防災マップのもと、優先順位を設けて向こう5年間ですべての拠点整備を進める提案の具体策は何か
			5、多極分散型ネットワークのまちづくりについて	(1) 半径2km程度の地域コミュニティー単位の根拠は何か (2) 20数カ所のコミュニティーの構築とは具体的にどういうことか (3) モデル地区の目処と具体的な取組みを示せ

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/10 (火)	2	清風会 詫間政司	1、市長の政治姿勢について	山下市政となつてはや2年が過ぎ、4年間の任期は折り返しとなり、後半の2年が始まる。一昨年に策定した第2次総合計画における、本市のまちの将来像は「One MITOYO～心つながる豊かさ実感都市～みとよ」であり、その実現に向けた政治姿勢と決意を問う。
			2、財政課題について	合併以来2番目の一般会計予算規模となっている。普通交付税の合併特例措置の段階的減少や、合併特例債の発行可能期限が迫るなど、三豊市財政の、極めて重要かつ深刻な局面を迎えている。(1)第2次総合計画の重点プロジェクトである「攻め」の施策(2)財政の将来的見通し(3)合併特例債の計画的取組を問う。
			3、AIベンチャーと自治体広域連携システムについて	みとよAI社会推進機構(マイズム)が開設されて、AIベンチャーが立ち上がった。(1)AIベンチャーの立ち上げの現状と今後の見通し(2)広域自治体等連携システムの今後の方向性を問う。
			4、学校再編整備について	再編整備基本方針に基づき、現在、豊中地区で説明会を進めているが、現状と今後の意見集約をどのように行っていくのか。また、市全域の再編構想の考えについて問う。
			5、三豊市子ども子育て世代包括支援センターの体制強化について	今年度の重点施策である、子育て世代包括支援センターの体制強化をどのように進めていくのかを問う。
			6、MaaSと多極分散型ネットワークのまちづくりについて	地方公共交通計画策定に取り組むとともに、民間事業者とも連携し本格的に着手していこうとしている。(1)MaaSに向けての実証実験、民間企業との連携等、その方法や実践について(2)多極分散型ネットワークのまちづくりの進め方と、その目指すべき政策目的とは(3)スマート社会、5G社会にも対応する取り組みにもチャレンジすることとの関連性を問う。
			7、補助金に頼らない地域や市民主体の取り組みについて	「補助金に頼らない地域や市民主体の取り組みが三豊を元気にしてくれる」とあり、民間投資をしてくれるフィールド、投資がしたくなる魅力を創っていくことが「豊かさを実感できるまちづくり」だとしている。市民自らによって取り組む「新しい公共」とは、どのような形なのか。どのように取り組んでいくのか。また、地域ができること、地域が捨てるべきことなど、思い切った決断による行財政運営も必要であるとの考えだが、この言葉の狙いの意味と、取り組み方についてを問う。
			8、港湾施設の機能強化について	国際港である詫間港については、昨年、市民から請願書が提出され、議会において幾度となく協議した。その中で県に要望するべきことをまとめ、県に対して要望書を提出した経緯がある。機能強化を含め県と協議をしていくとあるが、どのような体制と計画性をもって取り組んでいくのかを問う。

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/10 (火)	3	社民党 三木秀樹	1、三豊市の「基幹産業」と位置付けているが、耕作者の実態に沿った施策を行っているのか	基幹産業と位置付ける農業政策が、三豊市の農業従事者平均年齢75歳、耕地面積は1町以内で43%(2町以内で70%)の三豊市の実情に沿った施策が行われているのかどうか何点か現状を聞く。 (1)担い手の育成を数年前から方針化しているが、その成果の人数、耕地面積(何%)は。 (2)農業における「労働力不足」を打開する手段として「AI」技術の導入の成果は。その戸数、面積(全体の何%)か。 (3)薬用作物の進捗状況は、今後「三豊市の実情に合った」作物として栽培拡大をどの程度見込んでいるのか。戸数、面積を具体的に。
			2、検討だけか、本当に実施するのか、「夜間中学」の構想の問題点を端的に聞く。	文科省は各県で1校の設置を推進しているが、「施政方針」は「文言だけの」夜間中学の検討なのか、どうかを聞きたい。 (1)ひきこもりで学校にいけない子ども(？だけでなく、中高年も多いが!)の、学びの場になる。とあるが、どのような調査でこれが明言できるのか。 (2)「貧困の連鎖」を断ち切る重要な意義を「夜間中学」に求めているが、貧困の連鎖は新自由主義経済を推進した自民党政治にあるが、「夜間中学」で断ち切れる根拠を聞く。
			3、市子育て世代包括支援センターの「広範囲な守備」に対応できる要員配置は、可能なのか	子どもと、その家族の抱える不安を解消し、寄り添い、安心して暮らせる「環境づくり」と、虐待等により、幼い命が犠牲にならない様に二度とこのような事が無いように、「子ども達を守りぬく」とある。非常に決意だけは感じる「文言＝施政方針」であるが、その具体的施策を実行する要員は確保できるのか。
			4、公共施設の老朽化の対策等は教育委員会ではなく市長部局で行ってはどうか	施政方針(p17)の「公共施設の老朽化対策・・・財政負担の軽減・平準化に努めます」における、「生涯学習課の分野」すべてを、市長部局の「政策部」で対応すべきと思うがどうか。
			5、なぜ、「詫間地区造船跡地」施策が今「市政方針」にないのか	基本計画の重点施策であり、ランドデザインの「柱」である詫間地区の造船跡地計画は、2020年の施政方針に「ひとかけらも」無いのは何故か。端的に答弁を。
	4	公明党 込山文吉	1、施政方針より令和の時代での新たなまちづくり	持続可能な開発目標(自治体SDGs)達成に向けた取り組みについて、SDGsの理念である「公正」「共生・包摂」「循環」の三つから考えてみたい。 (1)「環境都市みとよ」はSDGs自治体モデルになりえるのか。 (2)「自分らしく暮らせるまち」は共生・包摂の概念が反映できているのか。 (3)「人と自然が守られる定住のまち」は公正、共生・包摂、循環の概念が反映できるのか。 (4)「知・体・心をはぐくみ、自分らしく暮らせるまち」は持続可能な社会の作り手を育てる体制か。 (5)オフィス改革、デジタルファースト宣言は公正、共生・包摂の理念からスタートしているか。
			2、お悔やみ手続きの一括化	死亡後の手続きが非常に煩雑で、長時間を要する。 お悔やみ窓口を設置するなど市民ファーストでの対応を考えるべきではないか。
			3、業者入札の特例について	大口工事案件が、随意契約で発注された。特例の基準と、基準に合っているかのチェック体制をお聞きする。

質問日	質問順	会派/氏名	件名	要旨
3/10 (火)	5	桜の木 湯口 新	1、今年度の施政方針について	(1)観光交流課について (2)スポーツ振興課について (3)ワークショップの環境整備について
			2、来年度の施政方針について	(1)オリンピックについて、中止の想定は。 (2)マイズム等に関する『横展開できる取り組み』とは。 (3)観光振興における『横断的なバックアップ体制』とは。 (4)『地域が捨てるべきこと』とはどういう事を想定しているのか。 (5)『縮みの思考、諦めの思考』とは誰のどの思考のことか。
			3、子どもが健やかに育ち、生涯笑顔で過ごせるまちについて	(1)小学生への血液検査の実施や農業振興なども結びつけながら、三豊市の食育・給食についての考え方などを聞く。 (2)完全米飯給食実施の可能性について聞く。